

コード	101010301
記入日	H26.6.2

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	山田 潤

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	ながさき巡礼受入体制推進事業
----------	----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10101	基本事業名称	魅力ある観光地の創造と推進体制の確立	目コード	3
事務事業コード	1010103	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 観光客延数 (対象2)	(対象指標1) 240,518人 (H25観光統計) (対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)						
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
(全体計画) ・今後増加が予想される巡礼客、各メディア対応、教会に関する問い合わせ対応や「世界遺産登録」に向けた受入体制を構築する。	(平成25年度) ・長崎巡礼センター新上五島ステーション事務所を設置 (櫻津港ターミナル内) ・専門知識を有する常勤職員を1名を配置 → 「ながさき巡礼」における新上五島町の案内窓口、各メディア・観光客への対応、教会との連絡調整、町内の関連資産の素材整理や情報発信等の業務実施 ・展示スペース設置 → ロビーへ訪問者に対し教会・巡礼に関する情報発信スペースを設置	① ① 専門知識常勤職員の配置	1人	33.3%	配置人員÷ 計画配置人員	平成27年度	
		① ② 専門知識常勤職員の配置	1人	100%		平成25年度	
		(達成率分析)	専門知識を有する職員を常勤させ教会巡礼に関する様々な業務に対応した。				
		②	メディア等取材対応件数	7件	5.2%	実績対応件数÷ 計画対応件数	平成27年度
メディア等取材対応件数	7件		17.5%	平成25年度			
(達成率分析)	県事業による新しい巡礼ツアー造成、人材育成等に業務体系がシフトしており、取材対応件数については依頼が少なかった。						
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)						
・平成24年度まで事務所を置いている有川港ターミナルでは、資料を展示・閲覧するスペースが確保出来ないという問題が生じていた。一方、櫻津港ターミナル内に設置している新魚目観光情報センターは、旅客船の発着が無く、本来の観光案内業務が副次的なものになりつつあったことから、本事業の実施により、長崎巡礼センター新上五島ステーションと新魚目観光情報センターを併設させ、その相乗効果により、世界遺産登録を見据えた観光客受入体制の充実を図る。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
	①	ステーション利用者数	433人	18.0%	利用者数÷ 計画利用者数	平成27年度	
	①	ステーション利用者数	433人	72.2%		平成25年度	
	(達成率分析)	平成25年7月からの利用者数であり、26年度より新たな巡礼ツアーも始まることから、更なる利用者の増が見込まれる。					
(達成率分析)							

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 人	3	1		1	1	1			
	② 件	135	7		40	7	45	50		
成果指標	① 人	2,400	433		600	433	800	1,000		
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	6,936	1,993		2,712	1,993	2,112	2,112		
直接事業費 A	千円	4,836	1,293		2,012	1,293	1,412	1,412		
人件費 B	千円	2,100	700		700	700	700	700		
内 従事職員数	人	0.3	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1		
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円									
の 県補助金	千円									
財 起債	千円									
源 其 他	千円									
内 一般財源	千円	6,936	1,993		2,712	1,993	2,112	2,112		

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は世界遺産登録を目指しており、その構成資産である頭ヶ島天主堂を有する本町において、増加傾向にある巡礼客の受入体制充実が必要不可欠であり、時代情勢を考慮しても継続すべき事業である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	教会や関係機関との連絡調整、巡礼に関する業務は専門的知識や独自のネットワークが必要であり、本事業の推進により、十分な成果がもたらされている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	整備した展示スペースの充実やガイド育成、情報発信等を行っていくことで、更なる事業成果が見込まれる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	巡礼に関する問い合わせのほか、本事業でなければ対応できない案件もあり、十分な活動結果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	現在の事業費でなければ十分な業務対応を行うことは難しく、必要な活動結果を得ることはできない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	展示スペースを充実させ、櫻津港ターミナルの有効利用、観光情報センターとの相乗効果により、新たな観光スポットとして定着するよう情報発信に務める。

2次評価	世界遺産登録を見据えた新たな観光スポットとして定着するよう情報発信を行い、また、地元ガイド等の育成強化としての機能や受入体制の充実を向上できる施設として有効的に活用していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。